
プロジェクト報告

国際秩序の変容とグローバルガバナンスに 関する若手研究

湯 浅 拓 也
和 田 洋 典

1. 概要

本研究プロジェクトの目的は、国際秩序の変容に着目し、安全保障、国際経済、人権、文化交流、ジェンダー、ナショナリズムなどの問題領域におけるグローバルガバナンスの課題について検討することであった。具体的な内容としては、各自の調査研究を進め、学外のゲストを討論者として招き、研究会を3回開催した。それぞれの研究会では、プロジェクトメンバーによる研究報告に加えて、各イシューに関する議論、グローバルガバナンス論や国際関係論に対するインプリケーション、今後の研究課題について議論を行った。

2. 研究会の記録

第1回研究会

日時：2021年10月16日(土) 10時～12時

形式：ハイフレックス型 (Zoom)

報告：①大槻歩未 (国際政治経済学研究科 国際政治学専攻 博士後期課程)

「EU のシビックアイデンティティとマイノリティへの寛容度」

②湯浅拓也 (流通経済大学 スポーツ健康科学部 講師)

「戦前期日本の対外関係における女性キリスト者知識人」

討論：宮井健志 (成蹊大学 法学部 客員准教授)

第2回研究会

日時：2022年1月10日（月・祝） 10時～12時

形式：ハイフレックス型（Zoom）

場所：青山キャンパス 8号館 4階 国際研究センター会議室

報告：①高橋雅英（中東調査会 研究員）

「フランスの対外政策：「アラブの春」後の中東政策を中心に」

②渡邊康宏（東京工業大学 社会・人間科学コース 博士後期課程）

「経済安全保障と宇宙開発：対日技術開発協力の観点からの一考察」

討論：今井宏平（アジア経済研究所 研究員）

和田洋典（青山学院大学 国際政治経済学部 教授）

第3回研究会

日時：2022年2月19日（土） 10時～12時

形式：オンライン（Zoom）

報告：陳兆昱（国際政治経済学研究科 国際政治学専攻 博士後期課程）

「女性の政治参加と国際平和」

討論：和田賢治（武蔵野学院大学 国際コミュニケーション学部 准教授）

備考：所属は研究会実施当時のもの

3. 成果

本研究プロジェクトの予算を活用し、プロジェクトメンバーが書籍や資料の購入することができ、また研究会での議論を通して各自の研究を進展させることができた。特に大学院生として参加したプロジェクトメンバーの多くは、外部研究者や他のプロジェクトメンバーからのコメントを踏まえて、博士論文執筆に向けて課題の洗い出しや土台となる議論を組み立てることができた。

また、第一線で活躍する外部研究者を招いて、研究会を開催できたことは、学ぶことが多かった。これまでのグローバルガバナンス論では十分に議論されていないジェンダーなどの今日的課題を取り上げ、意見交換を行うことができたことは有用であった。

本研究プロジェクトの成果を踏まえて、引き続き国際政治経済学研究科内の交流拡大とグローバルガバナンス論に関する研究を進めていきたい。本プロジェクトに討論者としてご参加いただいた宮井健志氏、今井宏平氏、和田賢治氏に感謝を申し上げます。